

## 知床世界遺産センター

- 冬期開館時間：9:00～16:30
- 休館日：毎週火曜日(10/21～4/19)
- Twitter、Instagram (@shiretoko\_whc) 発信中
- 森のどうぶつんち展・海ワシ展・蜃気楼展 開催中



### 流氷を見に行こう！

雪がある時期に流氷を見に行こう！

という事で、先輩にくっついて歩いてきました。2月なのに10℃を超える日があったり南風が吹いたり心配でしたが、今年の流氷はびっちりと来てくれているのでキレイな景色を楽しむことができました。また後日、北風によって再度流氷が寄ってきてくれたので、もう少しこの景色を楽しむことができそうです。今年はいつまでいてくれるのでしょうか？もうすぐ春ですね…寂しい。

(大和)【2月19日 15℃/0℃】

## 知床自然センター

- 開館時間 9:00～16:00
- 佐伯雅視『木の温もり展』開催中
- 「知床のコムヌプリだより」毎週土曜日記信中



### 日向ぼっこのタヌキさん

春のような日差しの中、一匹のエゾタヌキに出会いました。ぼさぼさの毛並みでぼんやりと座って、いかにも寝起きですといった様子です。観察を続けること5分ほど。ようやくタヌキも人間に見られていることが気になりだしたのか、短い足でヨタヨタと歩きだしました。毎週土曜日に配信中のメールマガジン「知床のコムヌプリだより」でも知床の身近な自然の様子やオススメ商品のご案内をしております。ご興味がある方は、登録無料ですのでぜひご覧ください🐾

(園田)【2月27日 -4℃/-12℃】

## 濤沸湖水鳥・湿地センター

- 9:00～17:00 開館
- 月曜日休館
- 野鳥観察
- 濤沸湖の四季映像(無料)
- 資料展示室
- 木道
- 自然情報
- 観光情報
- <http://www.city.abshiri.hokkaido.jp/>  
(網走市HP内)



### ヒシクイ、春の飛来

2月18日、濤沸湖の上空で7羽のヒシクイが飛んでいく様子を確認しました。春の渡りで初認です。やたら早くないか？(例年では3月上旬)

しかし、本州の越冬地のガン類は早くも北帰行したと聞いていたので、確かに今年は早いのでしょうか。暖かい日が続いたせいでしょうか。センターでは最も早い記録となりました。

そして、翌19日、濤沸湖の農地に約160羽いました。既に多くが飛来しているのかもしれない。

工藤【2月24日 -5.9℃/-14.6℃】

## 知床羅臼ビジターセンター

- 冬期開館日時：10～16時開館（11月～4月、月曜開館）
- レクチャールームにて「知床羅臼の四季」随時上映中

### 流氷シーズン真っ只中



羅臼の流氷はその時々風の向きによって、日々様相を変えます。海岸線で流氷が見られなかったとしても、ひとたび観光船に乗れば国後島側に接岸した流氷帯が見られる事もあります。それ以外にも海鳥が豊富な羅臼。オオワシ、オジロワシをはじめ、ワシカモメ、ユリカモメ、ウミガラス、コウミスズメ、ケイマフリなどが飛んでいることも。透明な薄氷の上をそろりそろりと歩く鳥を探してみるのもよし♪また海から見る雪化粧の知床連山と流氷の絶景。この組み合わせにはきっと感動を覚えることでしょう。

(いしい) 【2月27日  $-2^{\circ}\text{C}$ / $-11^{\circ}\text{C}$ 】

## 春国岱原生野鳥公園 ネイチャーセンター

- 開館時間 9:00～16:30 ■休館日：水曜日（水曜日が祝日の場合はその翌々日）、祝日の翌日。年末年始 12/29～1/3
- 入館料無料 ■双眼鏡・長靴・クマ鈴無料貸し出しあり
- Free Wi-Fi



### 林内は春のよう

ネイチャーセンターの隣にある東梅自然学習林では、コゲラやアカゲラがよく観察されています。暖冬の今年は雪がすっかりとけてしまい、地面はまだ凍っているものの、林内は春のようです。久しぶりに雪に埋もれていた地面が現れたせいか、普段樹上で生活するキツツキが地面で食べものを探している姿を見ます。植物では、ミズバショウの冬芽が雪から姿を現し、ヤマドリゼンマイは新芽が少し顔を覗かせているものもあります。昨年は3月17日にキタミフクジュソウが開花していますが、今年の春は早くやってくるかもしれません。

(大久保) 【2月24日  $-3.9^{\circ}\text{C}$ / $-9.1^{\circ}\text{C}$ 】

## 野付半島 ネイチャーセンター

- 自然情報 ■観光情報 ■遊歩道 ■ギャラリー
- 図書コーナー ■有料ガイドプログラム ■売店
- 書籍（図鑑）販売 ■午前9時～午後4時まで開館



### 暖冬

今年の冬は暖かいため野付湾の氷の状態が悪く、催行されないツアーも出てくるぐらいでした。

2月下旬にもなるとオオハクチョウなどの春の鳥たちが見られるようになり、早めの春を感じられました。

しかしながら、今年の流氷は例年よりも多く接岸しており外海が一面真っ白になるときもあるほどでした。

悪いことばかりではなかったのですが、来年の冬も心配なところですよ。

(河本) 【2月28日  $-2^{\circ}\text{C}$ / $-3^{\circ}\text{C}$ 】

## 鶴居・伊藤 タンチョウサンクチュアリ

- ネイチャーセンターが開館しました（10/1～3/30）
- 火・水・木休館 午前9時～午後4時00分
- バードウォッチング ■各種解説 ■おみやげ



### 求愛ダンス

少しずつ気温が上がり始めてきたこの頃、サンクチュアリの給餌場ではタンチョウたちのダンスがよく見られるようになってきました。

これからの繁殖期に向けて、ペアを探したり、夫婦の絆を確かめ合ったりと、ダンスの目的は様々です。

ぜひ皆さまも、雪原で美しく舞うタンチョウの観察に、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリにお越しください。※給餌は3月12日までの予定です。

（吉田）【2月20日 4℃/ -8℃】

## 釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

- 湿原観察 ■野鳥観察 ■自然情報 ■館内案内
- 周辺観光情報 ■自然ふれあい行事
- ※開館時間（11～3月）午前9時～午後4時



### 雪解けを待っていた小鳥たち

ビジターセンターの入り口近くの雪解けが進んだところで、ハシブトガラが地面に落ちている実をついばんでいました。そこにマヒワのオスが1羽だけやってきて、仲良く餌を探していました。

～木道の改修工事をしています～

今期の木道改修工事はもうすぐ終了し、通れるようになりますので、ご不便をおかけしますが今しばらくお待ちください。

（藤原）【2月24日 1.0℃/ -2.2℃】

## 釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター

- 湿原の自然情報や映像設備（湿原の詩・釧路湿原国立公園誕生までの2本立て） ■自然ふれあい行事
- ※開館時間（11月～3月）午前10時～午後4時
- ◎入館料 無料



### 頑張って走っています

今年も調子が悪いSL冬の湿原号。2月からは夏の観光列車ノロッコ号のDL車両がSLを押し走っています。3月まで走って欲しいです。

塘路湖ではワシ類もよく見かけます。シラルトロ湖ではヒシクイやダイサギなどが観られるほか、湿原帯ではハイロチュウヒが横切ることもあります。

山肌には、落の臺が頭を出して、春が近いことを告げています。

高橋【2月27日 -1℃/ -5℃】

## 厚岸水鳥観察館

■オジロワシ・カモ類 ■展望室 ■生映像の大型スクリーン ■観光情報



### 厚岸...真冬が来ない!

今季の冬は、真っ当な寒波がほぼ来ておりません。1月は前半が寒く、後半になるほど暖かくなっていくという例年の真逆の気温で推移しています。そのため、厚岸湖の氷も薄く少なく、また別寒辺牛川河口に大きな水面が未だに開いています。

そこにオオハクチョウが真水に近い水域を求めて集結しており、厚岸湖には干潮時に餌であるアマモを食べに行くという動きになっています。

この写真の場所は、観察館のカメラとYoutube Liveで見られます。

(澁谷)【1月30日 **+3.3°C**/**-6.7°C**】

## 霧多布湿原センター

■10~4月 - 火曜休 ■9:00~17:00 営業  
■展望カフェ ■エコツアー ■ミュージアムショップ  
■双眼鏡・長靴・レインウェア・熊鈴 レンタルあり  
■[www.kiritappu.or.jp/center/](http://www.kiritappu.or.jp/center/)



### 雪がない

それなりに寒い日もあったけれど、やっぱり今年の冬は暖かいのですね。霧多布湿原もご覧の通り雪はほぼありません。湿原の中を流れる川も、ついこの間まではガチガチに凍っていたのに、氷が割れチョロチョロと水の流れているのが見えます。

湿原を歩いているとあちこちからパキッ!パキッ!と氷の割れる音が響いていました。春が近づいているのは嬉しいけれど、物足りない冬を感じます。

※ 企画展「眠らない動物たち」開催中!

(樋口)【1月24日 **0°C**/**-5°C**】

## ノンノの森ネイチャーセンター (津別町)

■10:00~16:00・木曜日休館  
■体験プログラム・ガイド受付 ■カフェ  
■自然情報 ■周辺観光情報  
■<https://www.nonnomori.com>



### 【エゾシカのレストラン】

エゾシカさんにとって、お食事できる場所が少なくなる冬。

そんな冬に人気なのが…こちら。

歯型がイッパイの樹。

美味しいんでしょうねえ~♪

グルリと一周、樹皮を剥かれてしまっているの、この後はきっと枯れてしまう…。

樹皮を食べられる樹にとっては、迷惑な話。でも、エゾシカも腹ペコなので必死。

【2月20日 **-4°C** / **-12°C**】 By 森の中の支配人

## 阿寒国際ツルセンター

■野外飼育場・展示室 ■ギフトショップ  
分館タンチョウ観察センターOPEN



### タンチョウシーズン、終盤

150羽近いタンチョウが飛来し、その美しい姿を見てたくさんの観光客や写真家が感動していました。今、タンチョウは求愛の季節。ダンスそして交尾。最も美しい動きが見られる時期となりました。同時にこれまで育て上げた幼鳥を追い払い、親離れをした幼鳥同士が群れなり始めております。もうじきこの地を離れ、湿原での営巣が始まります。あと僅かな時期、楽しみましょう。

【ミキィ】2月29日 **-3.4°C** / **-20.9°C**

## 川湯 ビジターセンター

■自然情報 ■観光情報 ■川湯 eco 文庫  
■開館時間 9:00~16:00 毎週水曜日は休館  
■2F「Chip Hop Cafe」 ■キッズコーナー



### 屈斜路湖、全面結氷したら

今年は例年より少し暖かく、若干遅めの2月12日ごろに屈斜路湖が全面結氷。それから約2週間後、できていました！氷丘脈。

そしてこのころの屈斜路湖で、もう一つの楽しみが、湖の音。湖畔に立つと氷が割れるようなピシッという音とともに、ホワ〜ンホワ〜ンと反響するような音が聞こえます。今まで聞いたことがないような不思議な響き。。いったいどうしてあんな音がするのでしょうか？  
(岩城)【2月27日 **-3°C** / **-5°C**】

## 道立青少年体験活動支援施設 ネイパル北見（常呂町）

■9:00~17:30 開館 ■休館なし（臨時休業日あり）  
■野鳥観察（双眼鏡） ■周辺の動植物パネル展示  
■創作体験 ■自然情報 ■観光情報  
■<http://napal-kitami-hokkaido.jp/>



### 強風の日“お休みタイム”

サロマ湖もだいぶ凍り、ハクチョウの姿も消えましたが、水面が顔を出している所では、カモたちも羽を休めています。

それと同時に、近くでは必ずオオワシやオジロワシが、周辺の木々や背の高い除雪用のポールなどに止まって見学している姿が良く見られます。

しかし、さすがに風速10m前後の時は、いつもの場所で休息しています。木と擬態しているので非常に分かりづらいですが、20羽以上が周りの木にたくさん止まってました。

(加茂)【1月28日 **0°C** / **-3°C**】

道東の花や鳥の情報 3月	フクジュソウ		オオワシ・オジロワシ		タンチョウ		いちおし! 各施設のオススメ情報
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	
阿寒国際ツルセンター	×	△	○	○	◎	◎	
川湯エコミュージアムセンター	×	△	×	×	△	△	
鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ	×	△	△	△	◎	○	タンチョウの求愛ダンスが見頃です!
塘路湖エコミュージアムセンター	△	△	○	○	○	○	SL冬の湿原号は3月17日までの金～日曜日に走行中で、3月20日(祝)が最終日となっています。今年は(祝?)SLの調子が悪く、夏の観光列車/ロッコ号やDL車が後ろから押しているのが微笑ましいです。
厚岸水鳥観察館	△	○	○	△	△	○	河川がとけるとカモ類がたくさん
霧多布湿原センター	△	○	△	△	○	○	
春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター	×	○	○	○	○	◎	館内からキタミフクジュソウの群落や、オオハクチョウ・海ガモが見られます。
野付半島ネイチャーセンター	×	×	△	△	○	◎	氷結した野付湾がだいぶ溶けています。
羅臼ビジターセンター	×	△	◎	○	×	×	流水と海ワシハイシーズン!
知床自然センター	×	△	○	○	×	×	
釧路湿原国立公園温根内ビジターセンター	×	○	△	△	△	△	
知床世界遺産	×	×	○	○	×	×	
濤沸湖水鳥・湿地	×	△	○	○	△	○	ヒシクイなどのガン類の渡り
サロマ湖ネイパル北見	×	×	○	△	×	×	
ノンの森ネイチャーセンター	×	△	△	△	×	×	



道東自然系施設ネットワークのホームページへのQRコードです。各施設のホームページへのリンクがありますのでご利用ください。



根室総合振興局の道東花紀行のページに、同じ情報のPDFファイルが掲載されておりますので、こちらでもご利用ください。